

夢かなってク 通信

～ かなテク西部に入校し、自分の夢をかなえた方のメッセージです ～

自分を変える一歩を踏み出す

ICT エンジニアコース A・M さん

私が西部総合職業技術校を知ったのは、家族にパンフレットを見せてもらった時でした。

中学・高校と私は、日々をだらだらと過ごし、受験勉強をやらずにいたせいで、大学受験で浪人することになってしまいました。

しかし、こんな状況になっても勉強に身が入らずにいた私は一日を寝て過ごし、パソコンやスマホに逃げるように没頭し、家に引きこもるようになっていきました。この状況を良しとしない現状を変えたい自分もいましたが、楽をしたい気持ち、逃げる気持ちにはどうしても勝てずに一日を無駄に過ごし、その結果自分はなんてダメな奴なのだろうと塞ぎ込み、気持ちが沈む毎日が続きました。

そんな日々を続けていた去年の二月頃、私は今まで何も言わずにいてくれた母親から呼び出され、面と向かって話すことになりました。

母親から「これからどうするのか」と切り出され、私は「わからない」と答えるしかありませんでした。今まで一度も挑戦したことのない私は、逃げられないギリギリの所で、どう行動すればいいのか分からなかったのです。

こんな私に母親は、「もう立ち止まっていなくて、一歩前に進まない」と言い、そして技術校のパンフレットを渡すと、「私達親はきっかけを与えることしか出来ないから、最後は自分で決めなさい」と言いました。

この言葉で私は変わらなきゃという思いを後押しされ、楽をしたい気持ち、逃げる気持ちに初めて打ち勝つことが出来ました。

そうして、私は一歩を踏み出し、親の与えてくれたきっかけである技術校のオープンキャンパスに行くことにしました。

オープンキャンパスでは、多少なりとも触れてきたパソコンを扱う、ICTエンジニアコースを見学し、そこで初めて働くために生き生きと学び、就職に向けて努力している人達を見て、実際に授業している先生方の話を聞いて、自分の意思で入校試験を受けることを決めました。その際の面接試験では、とにかく一歩踏み出したい、変わりたいという思いを伝え、私は幸いにも入校の機会をいただくことが出来、新たな一歩を進みはじめました。

技術校に入校して私は初めて専門的な知識、就職活動のためのマナーに触れることになり、その一見しただけではまるで分からない内容に圧倒されましたが、同時に、この知識を学ぶことが出来ることに楽しさと嬉しさを感じている自分もいました。それまでの私は何もやらずに一年間逃げ続けていたので、久々にやる事が出来て元気が出ていました。授業で分からない所は積極的に先生に聞き、いつしか、近くに分からない人がいれば教えられるほどに知識量も増えていきました。一歩進むことの出来た私は、徐々に変わり始めていきました。

そんな私が次にぶつかった壁は就職活動です。面接の練習や履歴書を書く中で、自分の良い面をどうしても見つけることが出来ませんでした。色んなことから逃げていた一年間で私はすっかりネガティブな思考ばかりするようになり、考える時間ばかりが過ぎました。

そんな中、就職スキルアップの授業で聞いた「あなたから見て『短所』でも、他の人から見たら『長所』」という言葉聞いた時はかなり衝撃的でした。自分の視点から見たら『短所』かもしれないが、別の視点から見ることで『長所』に変わるかもしれない。それから自分は色んな角度から見ることを始めました。

こうした掘り下げを続けたことで、履歴書を書き終わる頃には、自分の『長所』かも知れない所をいくつか見つけることが出来、今では私の一番の『長所』は、一步前に踏み出す力であると自身を持って言えるようになりました。そしてその後、私は沢山の企業に応募し、面接の機会をいただき、お陰様で無事、内定を頂くことが出来ました。

技術校で過ごした九ヶ月間で、私は自分を大きく変えることが出来ました。働き始めると、また悩みが出て来て立ち止まる時がくるかもしれません。そんな時でもまず動く、一步を踏み出す、ということを経験したいと思っています。そうすれば、自分も変化できる、やれば何とかかなる。そんな気持ちでいっぱいです。この思いを今、思い悩んで立ち止まっている全ての人に伝えたいと思っています。

最後に、今回、私の思いを伝える機会を与えて下さった学校の皆様、未熟な想いをしっかり受け止めていただいた企業の方々に感謝したいと思います。